

DATA FILE



六方晶系

名前	SCHORL (スコール) / 鉄電気石
化学組成	$\text{NaFe}_3\text{Al}_6(\text{BO}_3)_3\text{Si}_6\text{O}_{18}(\text{OH})_4$
色	黒色
光沢	ガラス光沢
蛍光	なし
条痕	無色
劈開	不明瞭
断面	不規則～貝殻状
硬度	7 ~ 7.5
比重	3 ~ 3.2

鉄分を多く含有するため黒色をしているが、非常に薄い切片では濃い青緑色に見えることもある。

鉄電気石は、ほかの電気石と同様、ホウ素を含むケイ酸塩鉱物のひとつ。

主に、マグマが冷えてできた花崗岩ペグマタイトや変成岩などから産出する。

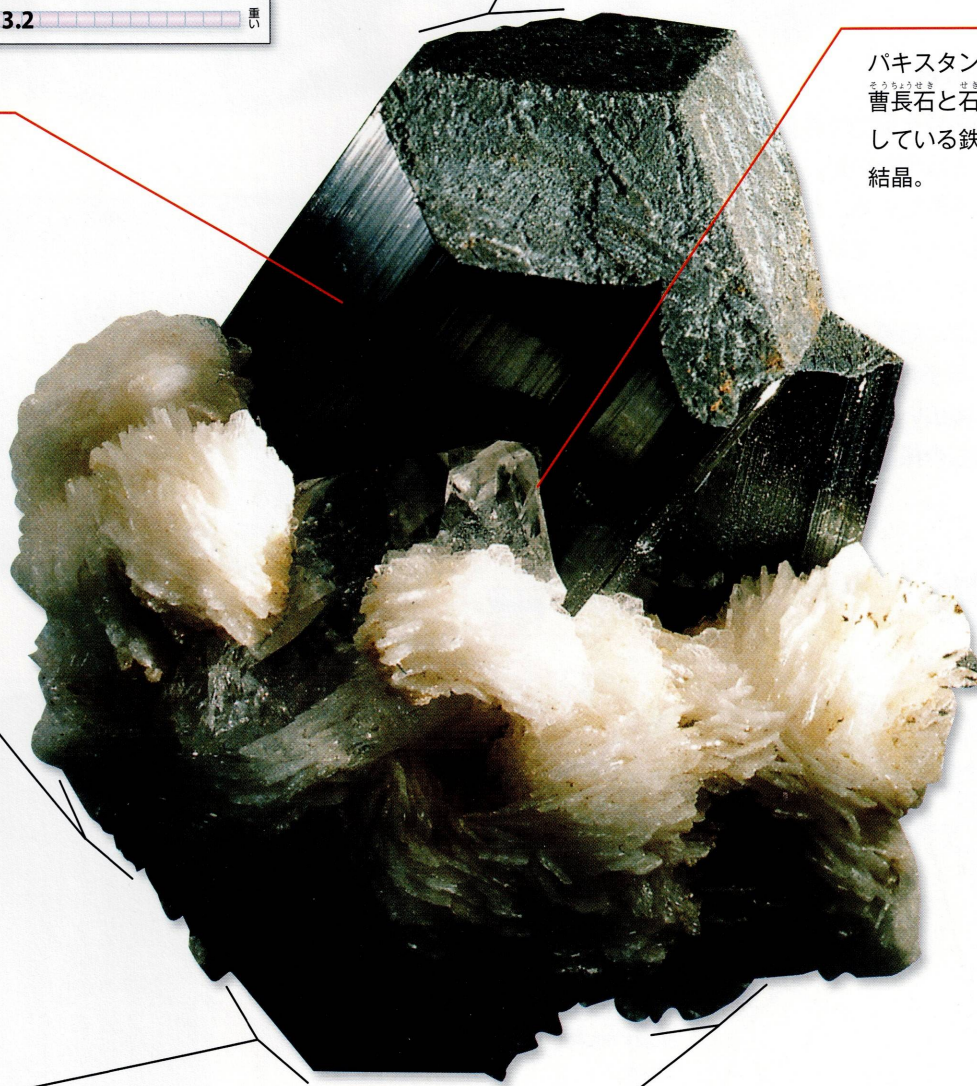
鉄電気石

SCHORL

電気石グループのなかで、もっとも産出量が多く、世界中で見られる。

パキスタンで採れた、曹長石と石英が共生している鉄電気石の結晶。

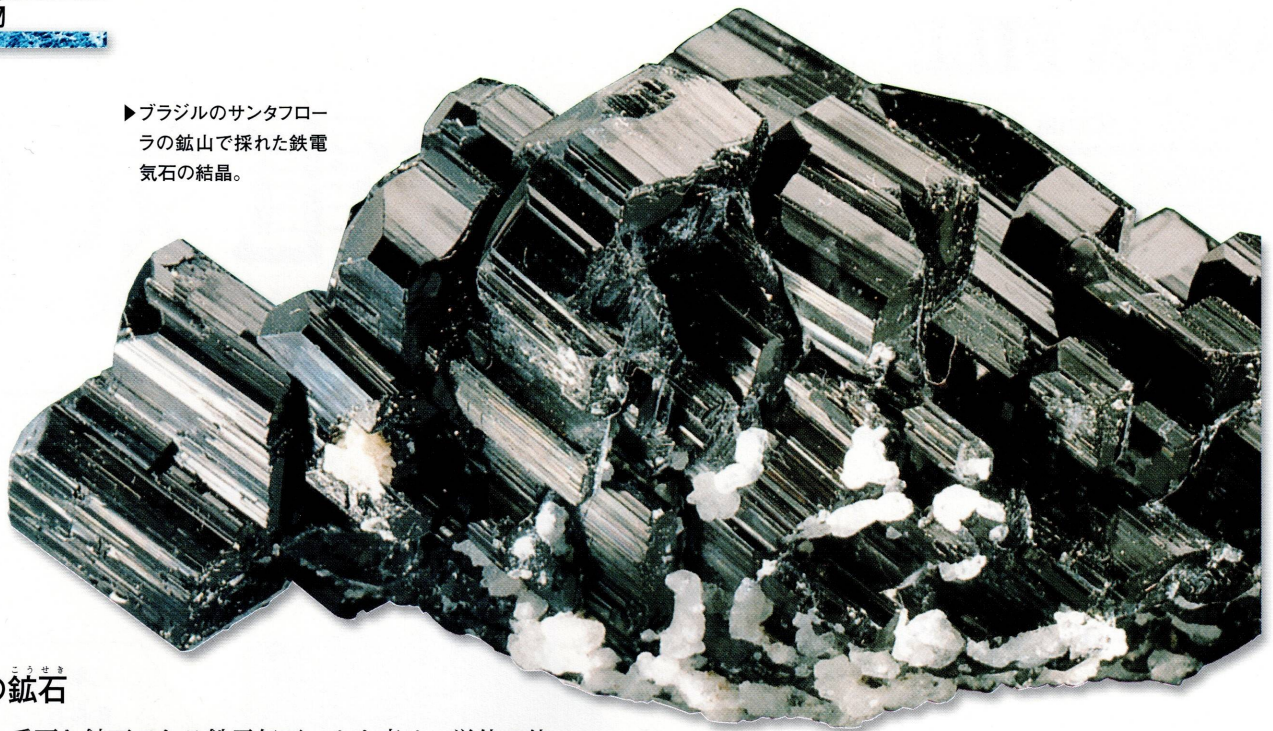
黒色の柱状結晶で、結晶面には縦方向の条線が見える。また、針状結晶が放射状に集まっている場合もある。



テ

鉄電気石

▶ブラジルのサンタフローラの鉱山で採れた鉄電気石の結晶。



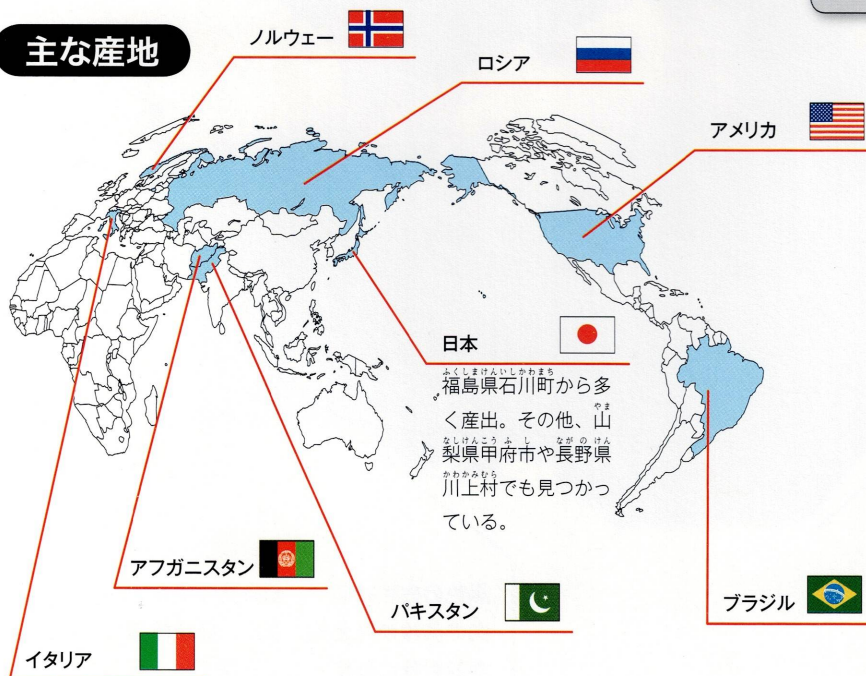
ホウ素の鉱石

ホウ素の重要な鉱石である鉄電気石。ホウ素は、単体で利用されることは少ないが、化合物であるホウ砂やホウ酸が日常的に利用されている。たとえば、ホウ砂は消毒剤や洗浄剤、水質軟化剤のほか、肥料や耐熱ガラスなどの原料に、ホウ酸は目の洗浄剤、うがい薬、鼻用のスプレーといった医薬品や、ゴキブリ駆除に効果を発揮するホウ酸団子に加え、鋼鉄を硬くしたり、原子炉の制御棒をつくるために用いられるなど、その用途は幅広い。しかし、ホウ素を取り出すことを目的とした鉄電気石の採掘は、採算が合うかどうかによって決まる。

焦電性

電気石には、摩擦したり熱すると電気を生じる性質（焦電性）があり、電気石でこすった布には、ほこりが吸着する。電気石のなかで、もっとも多く産出する鉄電気石は、比較的安価のため、この性質を利用して、衣服のほこりとりなどにも使用されている。

主な産地



▲イタリア産の鉄電気石。